第７回　大阪府水と緑の健康都市　オオタカ保全審議会の結果について

１．日　時：平成29年1月30日（月曜日）14:00～15:45

２．場　所：ホテルプリムローズ大阪　3階　高砂（西）

３．出席者：以下の２名の委員が出席

橋本　正弘　会長　　㈶日本野鳥の会　大阪支部　元支部長、元大阪府鳥獣専門委員

高柳　敦　　委員　　京都大学　農学研究科森林生産学講座講師

４．報告事項

　（１）オオタカモニタリング調査について

　（２）オオタカ保全地森林維持管理について

　（３）箕面森町のオオタカ保全の歩みについて

　（４）その他

５・議事の概要

　（１）オオタカモニタリング調査について

　　・平成28年度定点調査は1月19日まで11回実施したおり、オオタカの飛翔は確認されていない。本年度調査は繁殖期である2～3月に残り計7回実施予定であるとの説明を行った。

　　　委員からは、繁殖期のモニタリングも確認するため残りの調査結果と併せて、今後の工事予定も報告されたいとの意見を頂きました。

　（２）オオタカ保全地森林維持管理について

　　・平成28年度はオオタカ保全地で、倒木処理、常緑低木の間伐及びアカマツの大径木への薬剤注入などを行った。施業の効果により林内は明るくなり、オオタカの飛翔空間に適した環境となったとの説明を行った。

　　　委員からは、施業後のオオタカ保全地を現地確認したいとの要望がありました。

　（３）箕面森町のオオタカ保全の歩みについて

　　・時系列で事業決定を受けた平成3年度から本年まで、調査委員会、保全審議会からの提言を踏まえた保全対策の実施状況について説明を行った。

　　　委員からは、これまでの２つの提言を踏まえ、工事騒音・振動等を軽減させる重機操作や作業員への環境教育など、実施可能なさまざまな対策を講じてきたことで、近い将来、再びオオタカが戻ってくると信じているとのコメントと共に、府の真摯な取り組み姿勢を評価して頂きました。また、これまでの取組み経過及び資料を保存し、散逸させないようにとの意見を頂きました。

　（４）その他

　　・会長から、「箕面森町のオオタカ保全については、今回を含め7回にわたり審議してきましたが、これまでの２つの提言を守るとともに、今後、予定されている工事についても、これまでと同様に騒音や振動等に留意し慎重に行えば、オオタカの生息に影響を与えない旨の提言を行ったことで、本審議会はその役割を終えることになった。

なお、本日の開催に先立ち平成29年2月大阪府議会で本審議会の廃止条例案の手続きを進めることについて、書面により承諾している。」とのコメントを頂きました。

　　　なお、他の委員から異論はありませんでした。